

たあとるほいくえん

東三国ヶ丘園

2025年度 職員自己評価集計結果 (回答数 11)

1 要改善 2 要検討 3 普通
4 良い 5 たいへん良い
0 未回答 ★ 良いところ

保育の計画性

	1	2	3	4	5	0
たあとるほいくえんの保育理念・方針を理解し、達成できるように計画を立てている。		2	5	2	1	1
子ども一人ひとりの発達過程や興味を把握し、計画を立てている。(月案・個人計画)	1		3	6	1	
保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。		1	5	4	1	
評価結果をもとに保育の改善に努めている。		1	3	6	1	
楽しい雰囲気の中で、安定してあそべる環境構成を考えている。		1	2	4	3	1
配慮の必要な子どもには、その子に応じた計画を立てている。		1	3	4	1	2

- ★ スタッフ全員が協力的である。
- ★ 楽しい雰囲気作りを心掛けている。
- ★ 園の保育理念は常に心掛けている。
- ★ 保育理念を今一度見直して、心にとめて保育していきたい。
- ★ 職員が応援してくれて助けられた。
- ★ 保育理念・方針を理解しているだけで、計画を立てるところまで達していないので、努力していきたい。
- ★ 成長を把握し、適切な時期に応じた対応を心掛けていきたい。
- ★ 子ども一人ひとりの人権を大切にしたい保育を実践してきた。
- ★ 丁寧な言葉を意識し、楽しい雰囲気の中で、安心できる環境を作っていきたい。
- ★ 子ども一人ひとりの人権を大切にしたい保育を実践している。
- ★ 丁寧な言葉を、より意識して楽しい雰囲気の中で安心できる環境を作っていきたい。
- ★ 子どもに寄り添い、一人ひとりが楽しく過ごせるよう、援助や支援してきた。
- ★ 保育計画の月案、個人案の計画を立てる際「10の姿」を常に考えながら作成していく。
- ★ 保育の進め方や時間配分などを覚えながら、保育がスムーズに進められるよう学んでいく。
- ★ 一人ひとりの子どもの様子や発達・成長・特性など深く知り把握していく。
- ★ 担任間で、月案・個人案のねらいを話し合っ決めて、子ども一人ひとりに応じた援助を行うことができた。今後も、担任間での話し合いの時間を大切にしていきたい。
- ★ 行事の計画や準備が、ぎりぎりになってしまったので、余裕をもって行う。
- ★ 計画表は、期限内に立てて、保育を行うことができた。
- ★ 振り返りがその都度できていなかった。計画を立てるだけでなく、しっかり振り返るよう、心掛けていきたい。
- ★ 発達と気持ちの揺れを踏まえて、ねらいを明確にし計画を立てている。
- ★ より柔軟に子どもたちが理解できるよう、計画を立てていく。
- ★ 園の方針を常に意識して、一人ひとりと関わるよう努めている。
- ★ クラス担任の先生から、ねらいや計画を聞き、把握して各クラスに入り保育にあたっていく。

子どもとの触れ合い・対応

	1	2	3	4	5	0
一人ひとりの人権を大切に関わっている。			3	5	3	
一人ひとりの思いを受け止め、思いをできるだけ実現してあげようとしている。			1	8	2	
一人ひとりの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている。		2	5	3	1	
一人ひとりの子どもの話を同じ目線で聞き、丁寧に関わっている。			4	2	4	1
子どもの手本となる言葉使いや挨拶が出来ている。			3	5	2	1
子どもの名前は呼びすてにしていない。			4	2	5	

すべての子どもと公平に関わっている。			2	4	5	
オムツ交換・お着替え時は、優しく声掛けし、スキンシップをとっている。			2	5	4	
必要以上に「禁止・命令・行動を急かす・自信を失わせる言葉や態度をしていないか。			4	2	5	
子どもに対する適切な言葉遣いができている。			5	5	1	

- ★ 子ども一人ひとりの様子を知り、対応の仕方や配慮を心掛けている。不適切な保育にならないよう気を付けている。
- ★ 一年間の成長や発達が想像のみだったので、見通しを持ちにくい。
- ★ 子ども一人ひとりと向き合い、特別扱いせず、個々の気持ちをゆっくり受け止めるようにしてきた。
- ★ 個別に対応する時は、全体の様子を見ながら。他の保育者と連携をとって、子どもと向き合うようにする。
- ★ それぞれの思いや個別の目標に寄り添い援助ができている。
- ★ 常に「公平・平等」な関わり方ができているか、意識的に振り返る。
- ★ 一人ひとりの話を聞いて、答えようとしている。
- ★ 細かい声掛けをできるようにする。
- ★ 子どもたちとのやり取りが少しでも楽しくなるように努めている。
- ★ 一人ひとりを理解し(喃語を正しく受け止めること)代弁して子ども同士を上手く仲介できていないことが上達できるように、目を見てしっかり聞こうと思う。
- ★ 子ども一人ひとりと丁寧にに関わり、思いを受け止め、優しく接したり、コミュニケーションやスキンシップを大切に、安心して楽しく過ごせるよう常に心掛ける。
- ★ 見通しを持って関わっていききたい。
- ★ 子どもに対して、安心した保育をしている。
- ★ 一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心できる関りを心掛けている。
- ★ 子ども同士の関りをひろげられるよう、仲立ちや言葉の援助を高めていきたい。
- ★ 一人ひとりの子どもたちの思いを受け止め、丁寧に関わることを心掛けてきた。
- ★ 遅れている子に対して、行動を急がせたり「早く」と声掛けをしまう時があるので配慮していきたい。
- ★ 子どもが話しかけてきた時は、手を止め、子どもの顔を見て話を聞き、共感するように心掛けた。
- ★ 気持ちの切り替えがなかなかできない子どもへの関わり方が難しく感じた。他の先生の関わり方を参考にしていきたい。
- ★ 一人ひとりの気持ちに寄り添い、適切な支援ができるよう心掛けてきた。
- ★ 子どもの困っていることに素早く気づき、望ましい関りをするこで、安心して過ごせるよう努めたい。

保護者への対応	1	2	3	4	5	0
園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。	1		2	4	2	2
子育てパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。			2	5	2	2
送迎時に子どもの姿(ケガ含む)を必ず伝えている。			4	1	3	3
丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。			2	4	3	2
親しくなったからといって、ため口や友達同士のような話し方、上から目線で会話をしていないか。			4	1	4	2
すべての保護者と公平に関わっている。		1	1	3	4	2
保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。		1	1	4	3	2

- ★ 明るく、気持ちの良い挨拶を心掛けてきた。
- ★ 丁寧な言葉遣い、姿勢で対応し、保護者に安心してもらえるようにしていく。
- ★ 園でのエピソードや頑張ったことなどを保護者に伝え、安心していただけるように努めた。
- ★ 保護者が不安に思っていることや、心配事などを気軽に話していただけるように、信頼を得る努力をしていく。
- ★ 丁寧な対応を心掛け、子どもの成長を共に喜び、保護者の思いを大切にしている。
- ★ 持ち物の入れ違いがあったので、しっかり確認していく。
- ★ 子どもの成長、気づきを丁寧に伝え、保護者が安心できるよう対応してきた。
- ★ 保護者の思いをくみ取り、共感しながら信頼関係を深めるようにしていきたい。
- ★ 子どもだけではなく、保護者の気持ちを受け止め、話しやすいようにコミュニケーションをとったり子どもの成長と一緒に喜び、嬉しいことも、辛いことも理解していこうとしてきた。
- ★ 時々、連絡帳に丁寧語で書けていない時があったので、気を付けていきたい。
- ★ あいさつや声掛けを意識してきた。
- ★ 保育中(活動中)の話を具体的に伝えていきたい。
- ★ いつも笑顔で対応してきた。
- ★ 保護者も心身ともに元気であるか、確認していけるよう努めたい。
- ★ 子育ての悩みや喜びを共有できる姿勢を持ってきた。
- ★ 子育ての大変さや悩みをより深く汲み取れるように、さらに丁寧な対話を重ねていきたい。
- ★ 少し人見知りがあったが、保護者と会話できるようになってきた。
- ★ 担当外の年齢の子どもや保護者とも関わってきたい。
- ★ 保護者の立場を想定し、日々大変さや相談事はしっかりと受け止め対応してきた。
- ★ 職員間で保護者に伝えることを共有し、短時間での対応を心掛けていく。

自然や社会との関り(散歩・戸外あそび)	1	2	3	4	5	0
適度に園庭やお散歩に出掛けている。			1	4	5	
生き物や植物を大切にしている。		1	1	4	3	2
近隣地域の人、来園者に明るく挨拶ができています。			2	4	3	2
★ 散歩時、生き物(魚、猫、虫など)を見れるという期待感がもてるように、声掛けをしてきた。 ★ 散歩コースの植物の名前を調べ、子どもが興味を持った時に、答えられるようにしていく。 ★ 散歩時など、地域の人に率先して挨拶することで、子どももすれちがう方に自ら、挨拶するようになった。今後も、子どもの手本となる行動を続けていきたい。 ★ 公園に行った時に、他の保育園児が遊んでいることがあったので、別の活動も準備しておく。 ★ 気温や個々の体調に配慮しながら、できるだけ戸外へ行く機会をたくさん作るようにしてきた。 ★ 苗を植えてから、水やりに行く機会が作れなかった。 ★ 子どもの気づきや興味を広げる関りを心掛けてきた。 ★ 体験を学びに繋げられるよう、取り入れていく。 ★ 周りの景色や見えるものを言葉で伝えたり、自然を感じられるよう、心掛けてきた。 ★ すべての人に、明るく挨拶ができるよう、心掛けていく。 ★ 季節感を知らせたり、子どもが発見できるようにしてきた。 ★ 園の植物の世話(水やりなど)を促し、生育を見る機会を作っていく。 ★ 空いた時間がある時は、お散歩に付き添えるよう、心掛けてきた。 ★ 苦手な生き物でも、関わられるよう努力していきたい。 ★ 生き物や植物を大切にすることを育ててきた。 ★ 子どもの探求心を引き出す声掛けの工夫をしていく。 ★ 草花や野菜の育ちを子どもと楽しみたい。 ★ 散歩時の安全対策や危険箇所などを覚えていきたい。 ★ 給食までの少しの時間でも、気分を変えるため、散歩や園庭に出るようにした。 ★ 生き物や植物、自然に興味を持てるよう、四季を通して戸外に出る機会を作っていく。						
保育士としての能力(良識・適正)及び態度(姿勢)	1	2	3	4	5	0
園内・園外研修に積極的に参加している。	1	2	2	3	1	2
自らの保育を振り返り、第三者の意見を聞きにしている。		1	4	4	1	1

自らの保育を振り返り、第三者の意見を取り入れている。			4	4	2	1
自身の保育を振り返り評価反省を行いすることで、次の保育に生かしている。		1	4	3	2	1
まだ、自分にできることはないか、協力できることはないか自ら声をかけている。		1	5	2	2	1
自己の体調を管理し、他職員に迷惑をかけないように努めた。		3	2	2	3	1
子どもの事、クラスの出来事、保護者からの苦情(相談)等、必要なことは、施設長(管理者)や主任に「報告・連絡・相談」している。		1	3	3	3	1
園の消耗品や教材は節約して使っている。			4	3	4	
職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていないか。			2	3	5	1
他の保育士の意見を尊重できている。			3	4	3	1
提出物を期限内に提出できている。		2	2	3	3	1

- ★ 自分にできることはないか、周りの状況を確認しながら、積極的に行動してきた。
- ★ 作業が手早くできるよう、意見や方法を聞きながら経験値を上げていきたい。
- ★ クラスで機会を持ち、他の保育者の意見を尊重し、保育に取り入れてきた。
- ★ クラスの保育者間で、報告や連絡を密にとっていきたい。
- ★ 自身の健康管理(手洗い・うがい・睡眠等)に留意してきた。
- ★ 十分に報・連・相をこまめに連携していく。
- ★ 子どもの様子や保護者からの要望を敏速に共有し、理解し合えるように努めてきた。
- ★ 子ども一人ひとりの細かな変化に気付ける心の余裕をもっていきたい。
- ★ 他の先生方の負担にならないように、できる事をすぐに聞き動くように努めてきた。
- ★ 現状維持ではなく、子どもにとってよりプラスになるよう考え、行動していく。
- ★ 失敗も多かったが、たくさんの学びと経験ができた。
- ★ 確実さや迅速さを身に付けていきたい。
- ★ 自分にできる事はないか、協力できる事はないか、声を掛け努めてきた。
- ★ ピアノができていないので努力したい。
- ★ 責任感を持って保育に知り組んでいる。
- ★ 専門性の向上をもっと意識し、自分の知識や技術、人間性を高めるよう自ら進んで、学びを続けていく。
- ★ 他の先生方の意見を取り入れ、保育することを大切にしてきた。大切なこと、必要なことは報・連・相をするよう心掛けてきた。
- ★ 短い時間で自分のことで精一杯になってしまうことがあったので、計画を立てて取り組みたい。
- ★ 保育士同士よく相談してきた。
- ★ 苦手な(ピアノ・パソコン)にもチャレンジし、少しではあるが前進することができた。
- ★ 自分のクラスだけではなく他のクラスの手伝いもできるように、時間と心に余裕を持てるようになっていきたい。

安全面及び衛生面	1	2	3	4	5	0
給食及び間食を提供の際は、アレルギー食の配慮や工夫がされている。			2	1	5	3
施設設備や園庭、お散歩道中の危険箇所を把握し、安全点検を行っている。			3	2	5	1
常に危険を予知して保育に取り組んでいる。			3	4	4	
危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができている。		1	2	7	1	
保育室の換気、温度・湿度に配慮して保育している。			2	5	4	
子どもの健康状態やケガを記録し、職員間で把握できている。			4	3	3	1

- ★ 子どものけがや健康状態など、気になることは担任の先生に確認し、情報を共有するようになってきた。
- ★ 安全点検や衛生面への配慮を日常に流され見落とさないように注意していく。
- ★ お散歩など、戸外に出る時は、保育者と子ども的人数を考え、災害時や避難することも考慮して出かけた。
- ★ 保育者が危機管理の意識を持ち、子ども的人数を考慮し配置しながら出るようにする。
- ★ 環境の危険予知などに配慮してきた。
- ★ 安全や衛生の体制はあるが、まだ把握しきれていないところを確認していく。
- ★ 当たり前のことをいかに継続できるように力を入れ努力してきた。
- ★ 何かあったときに迅速に動けるよう、知識を深めていきたい。
- ★ 安心・安全を常に心がけてきた。
- ★ 安心・安全を細かいところまで、注意して考えていく。
- ★ なるべく一人ひとりに注目し、早期発見に努めてきた。
- ★ けがや、ヒヤリハットに繋がることのないようにしていきたい。
- ★ 常に安全を気にかけて、保育している。
- ★ 散歩中での車や自転車の接近の声掛けをさらに強化していく。
- ★ 事故の防止と感染の予防を意識し取り組んできた。
- ★ 子どもの行動を予測した環境構成に、保育士同士の声掛けをさらに心掛けていきたい。
- ★ 常に危険を意識して、けがやトラブルにならないよう配慮して保育してきた。
- ★ 子ども同士のトラブル(ひっかき傷等)の対応を保育士同士、連携を強化していきたい。
- ★ 保育士間の話し合いは、よくできていた。
- ★ 保護者の協力をいただき、薄着の習慣が定着してきた。
- ★ 担当クラス以外の園児の体の様子を周知してきた。
- ★ 避難訓練で園内にいるときの緊急対応はできるようになっが、戸外にいる時の対応も考え実行できるようにしていく。

※ 安全計画に伴い、年間12回の避難訓練を実施し、心肺蘇生法等の園内研修を令和7年7月28日に実施したことを報告いたします。